

 and factory

**2Q 2022**

**Financial Results**



# Our Mission

## 日常に&を届ける

常識を打ち破る圧倒的な品質を提供し、少し先の未来を作っていく  
革新性があるプロダクトを世の中に送り出し、人々の習慣を獲得する  
非デジタルな業界に変革をもたらし、世の中をアップデートする

# Index

1. 2022年8月期 2Q業績ハイライト
2. マンガ事業
3. エンタメ事業
4. RET事業
5. その他
6. Appendix

01

# 2022年8月期 2Q業績ハイライト

売上高  
(2Q累計)

**1,332** 百万円  
(YoY-10%)

営業利益  
(2Q累計)

**11** 百万円  
(YoY+218百万円)

## APP事業 (マンガ・エンタメ)

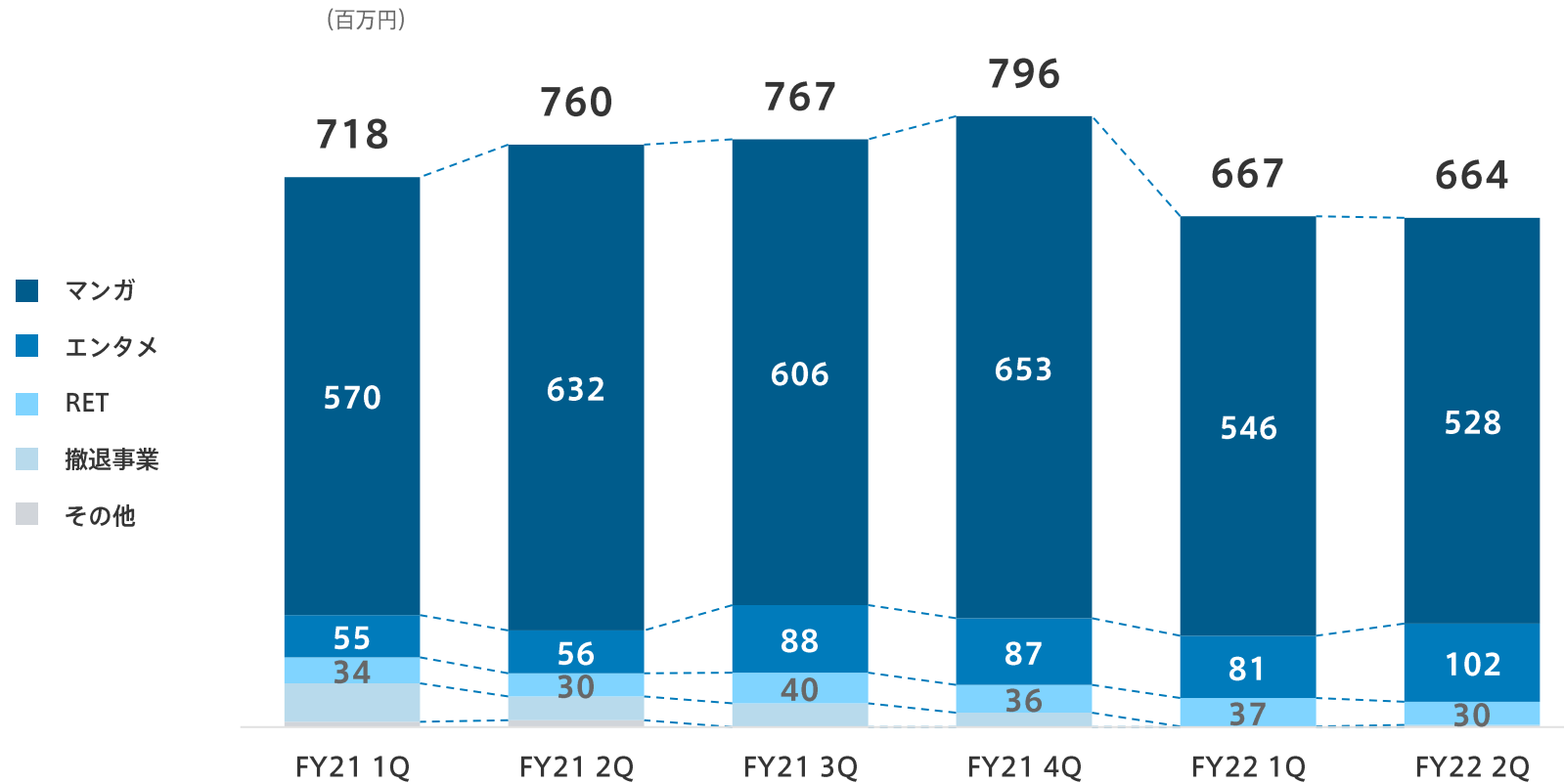
- マンガ事業の売上高はQoQ横ばいで推移
- 効率的な広告宣伝費の投下が奏功し利益率が改善
- 占い事業を中心とするエンタメ事業も着実に成長

## RET事業・その他

- &AND HOSTEL事業は計画通り進捗
- RET事業の営業利益はYoY+68百万円となり赤字幅が縮小

# 売上高の推移

- マンガ事業はARPUが前年より低調に推移したため売上高はYoY-16%で着地
- エンタメ事業の中でも占い事業が拡大。ゲーム攻略アプリ（最強シリーズ）の縮小を打ち返す
- 前年度の事業譲渡による売上減少の影響はあるが&AND HOSTELを中心としたRET事業は堅調に推移



前年同期比

**-13%**

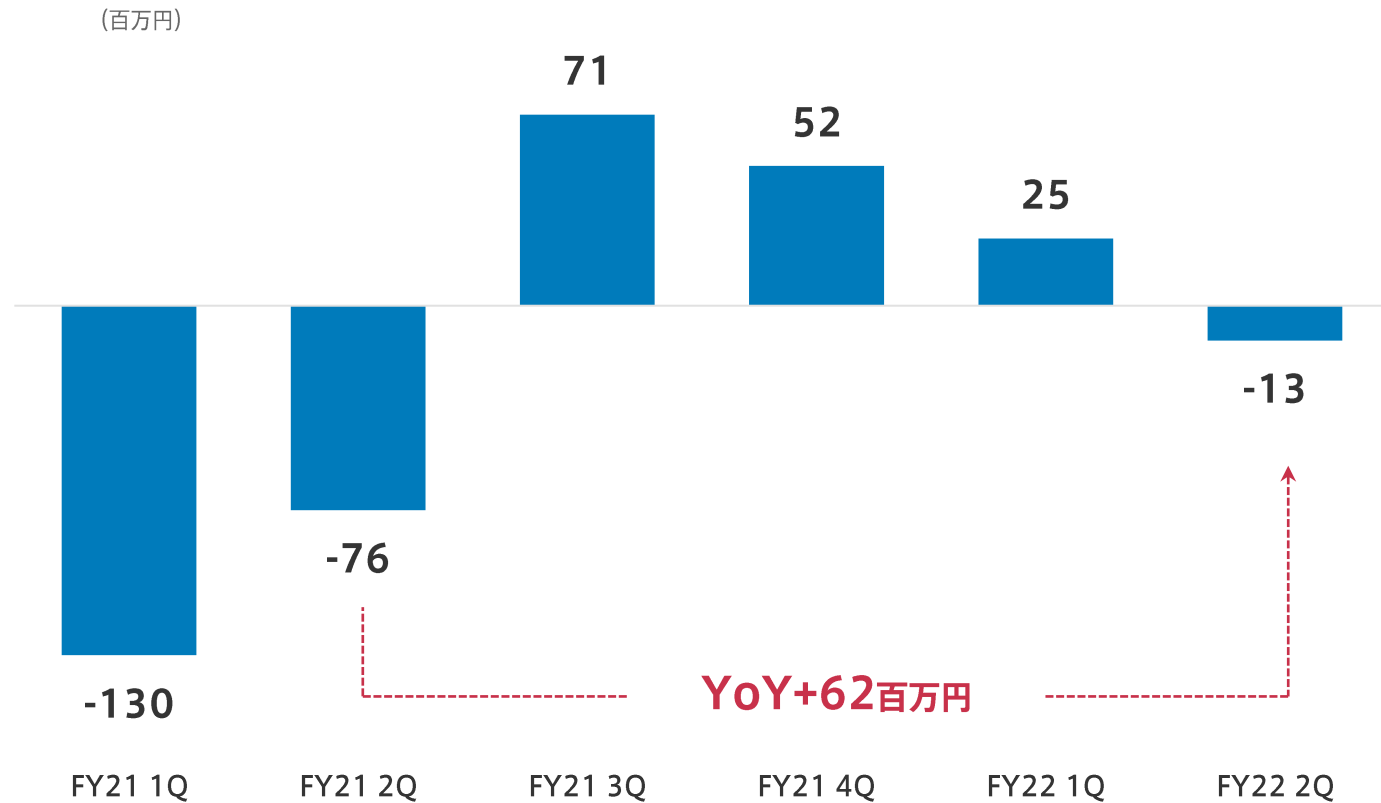
前四半期比

**横ばい**

※その他に含まれていたAPP事業に関するインターネット広告の代理サービス事業は、2021年8月期第3四半期以降APP事業で管掌する組織変更を行っております。

## 営業利益の推移

- マンガ事業においては継続して広告宣伝費を投下、効率的な運用により前年同期比で利益率が改善
- 占い事業が成長フェーズにあり、年末年始に合わせて積極的に広告宣伝費を計上
- 前年度の事業譲渡による利益改善策は当初想定通り利益改善に寄与



前年同期比

**+62**  
百万円

前四半期比

**-38**  
百万円

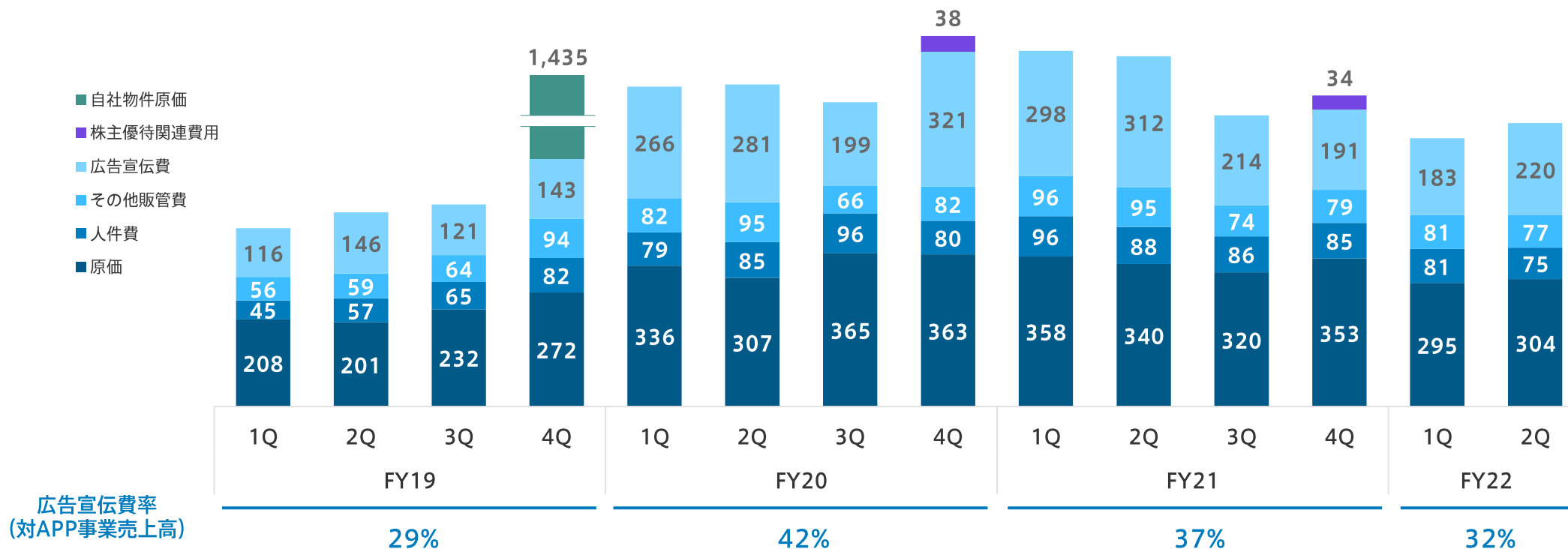
FY21実績 : -83 百万円

FY22予想 : 170 百万円

# コスト推移

- 今期2Qの広告宣伝費は1Qに引き続きYoYで29%減少。概ね計画に沿った形
- 全体のコスト構造に大きな変化は無いが、今期より一定程度のコスト圧縮を想定
- QoQで広告宣伝費が増加しているが、占い事業において年末年始に合わせたキャンペーンを行ったことが主因、広告宣伝費の期初予算を前倒しで投下

(百万円)

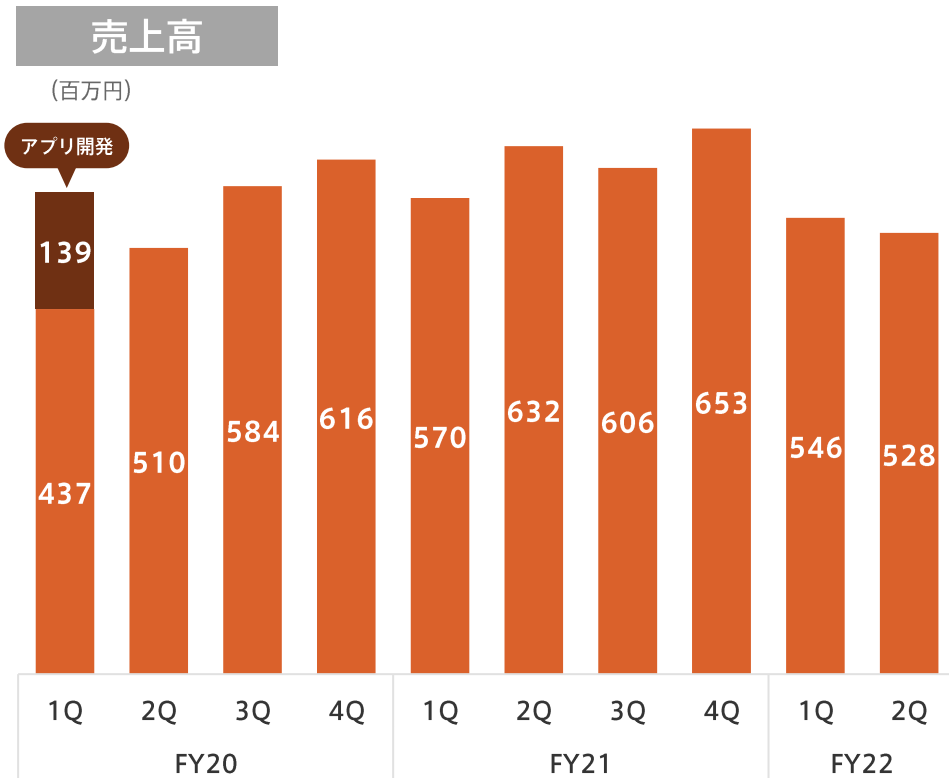




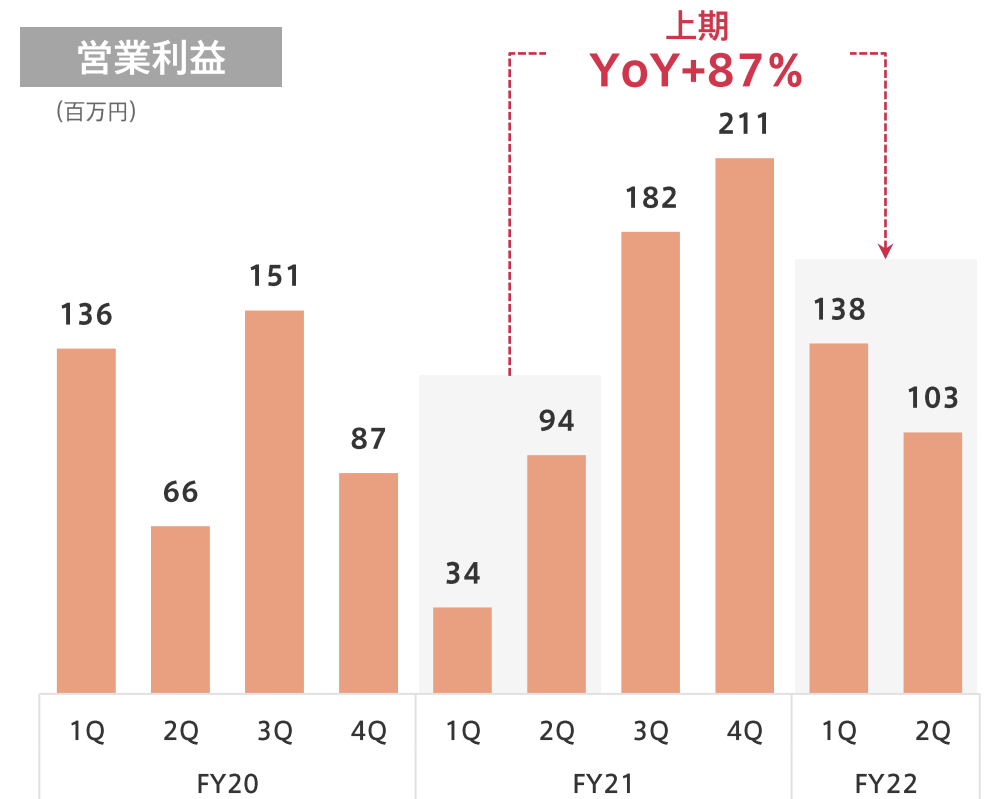
# マンガ事業

# 売上高/営業利益推移 (四半期)

- 売上高は前年同期と比較して減少、広告売上が特に減少傾向にある
- 前年より営業利益は広告宣伝費抑制により利益率が上昇し前年同期を上回って着地
- 前年までは広告宣伝費を上期に積極投下していたが、今期はやや平準化される見込み



※アプリ開発は、初期開発に関する制作費等



※エンジニア及びデザイナーに係る全社共通費用を含む

# マンガアプリKPIの推移

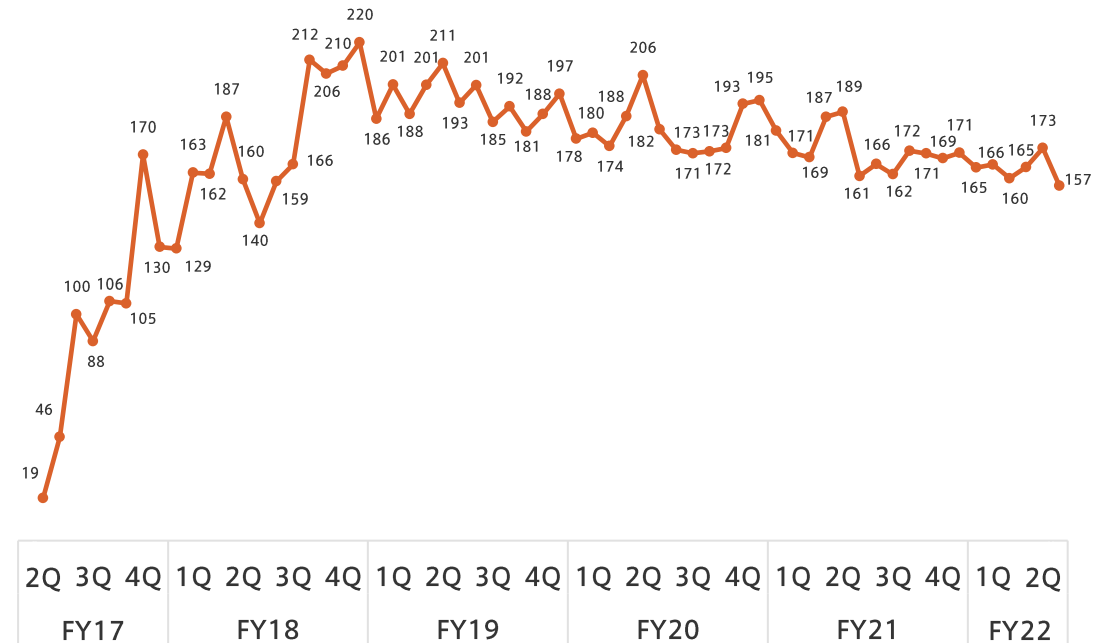
- 前期4Qに一部のアプリで実施していた大型無料施策の反動によりMAUは減少
- 獲得単価が上昇傾向にあるため広告宣伝費は抑制、新規ユーザーの獲得に苦戦
- 季節要因もありARPUは1月が特に好調に推移

## マンガアプリのMAU

(万人)



## マンガアプリのARPU (円/人)

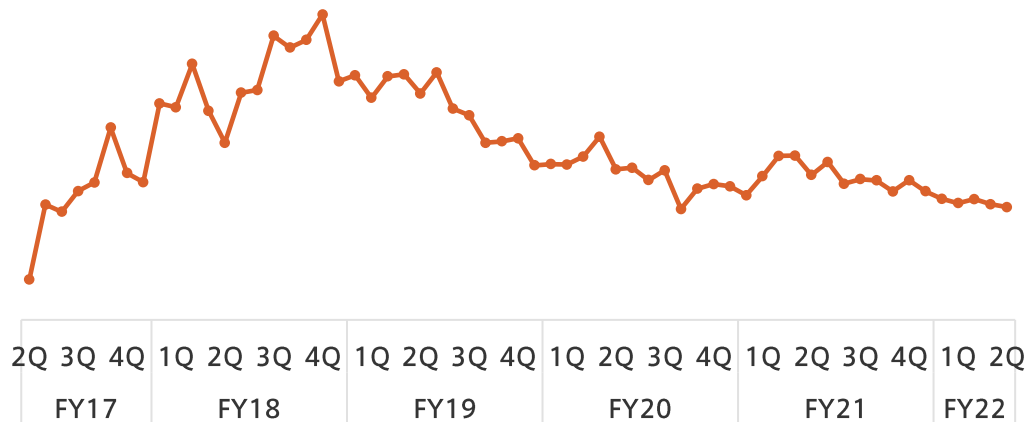


※マンガアプリのMAUの各四半期における平均値を採用

※2017年3月のマンガUP!のARPUを100として指数化  
以降は、新規含む複数アプリのARPUの単純平均値を指数化

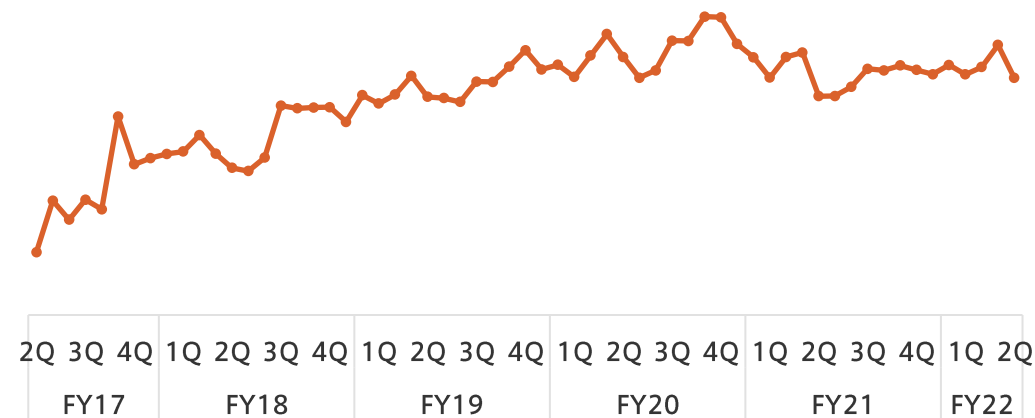
# マンガアプリKPIの推移

## 広告ARPU (指数化)



- 獲得単価が上昇傾向にあり特に広告経由での新規獲得が鈍化
- 広告ARPUも横ばいで推移

## 課金ARPU (指数化)



- 全体的に前年同期並みの水準で推移
- 各アプリにおいて無料施策を実施した影響等により課金ARPUは低調に推移
- 2月は日数の関係で低下する傾向にあり
- 今後単価の調整等によりARPUの改善を図る

# Webtoon事業の進捗

- 今期の重点施策の一つとしてWebtoon事業を推進中
- 独自で書店型アプリの開発・運用をする方針から、協業パートナーとWebtoonに特化したプラットフォームの展開を目指す方針に転換
- 当社固有のコンテンツ獲得を目指す方針は不変
- 既に数社の協業先候補があり調整中。進展があり次第速やかにアップデート予定

## これまでの方針

国内	海外
コンテンツ制作	コンテンツ調達
□ 国内原作	□ 韓国コンテンツ
□ クリエイター	□ 中国コンテンツ

当社固有のコンテンツ獲得／マネタイズ  
当社が展開するアプリにて独占配信

## 新たな方針



協業先数社とWebtoon  
に特化したプラット  
フォームを展開

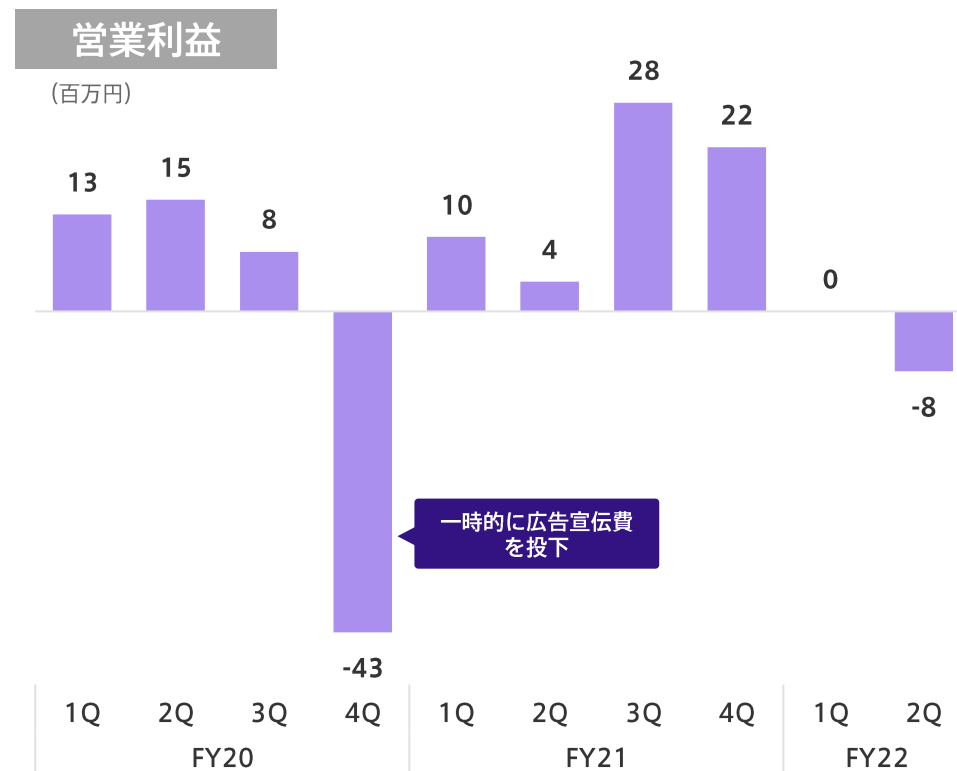
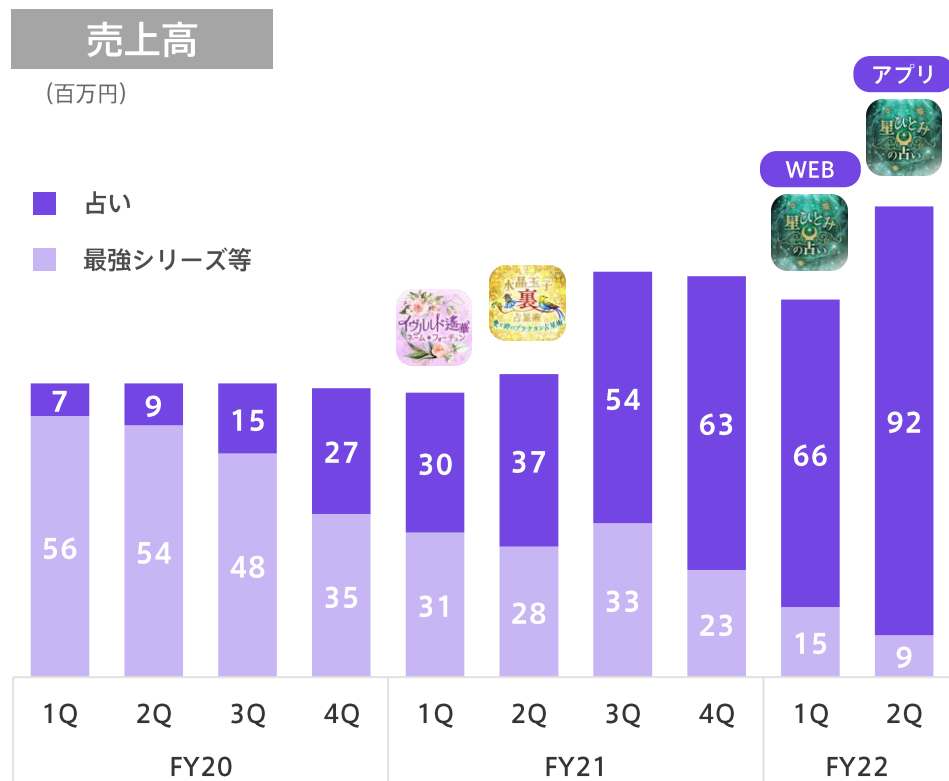
開発したアプリ内  
にてWebtoon作品  
を配信

当社固有の  
コンテンツ獲得  
を目指す

# エンタメ事業

# 売上高/営業利益推移 (四半期)

- 新規アプリが好調に伸びていることに加え、年末年始は占い事業にとって需要期でもあるため広告宣伝費を当初予算より前倒しで投下
- 有名占い師との個別サービスが順調に推移。特に星ひとみについてはTVでの宣伝効果に加え、競合となるアプリもなく好調が継続



# RET事業

04

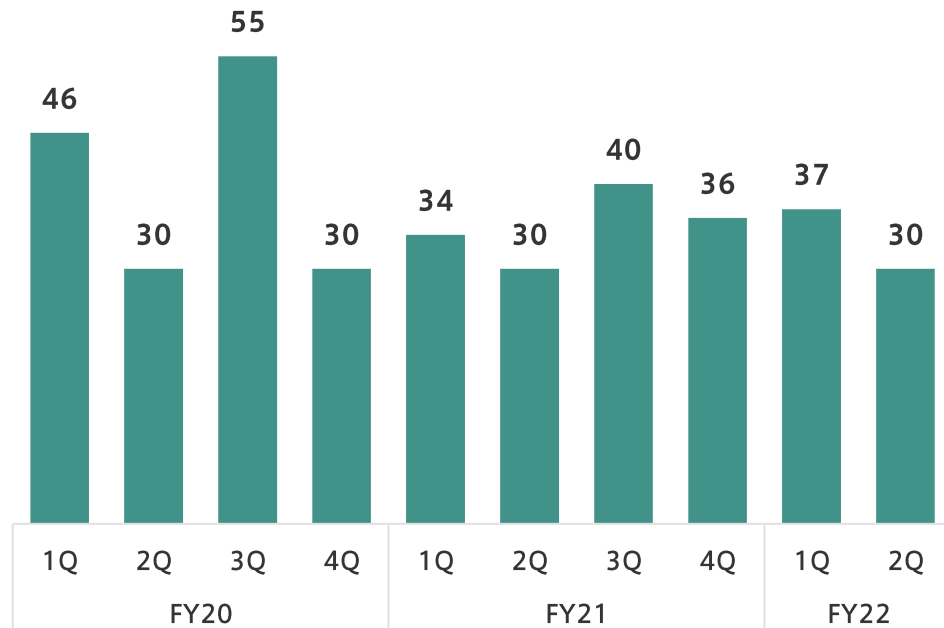


# 売上高/営業利益推移 (四半期)

- 自社開発物件の売却は進捗無し、今後動きがあった際には速やかに開示予定
- &AND HOSTELは現存店舗の運営を継続させつつ新規事業に注力
- 新規事業の立ち上げにより今期新たな収益源を確立させていく

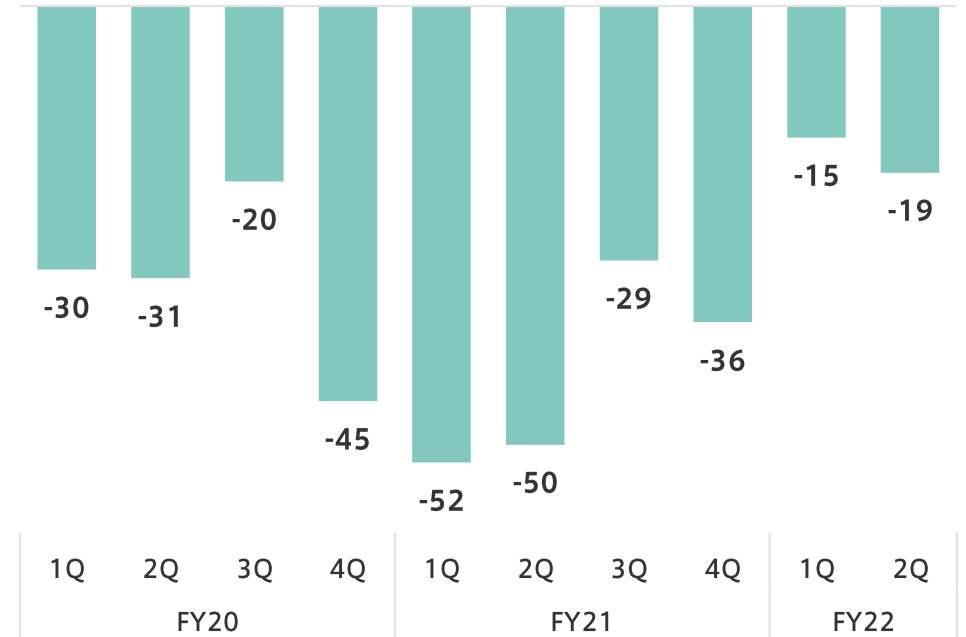
## 売上高

(百万円)



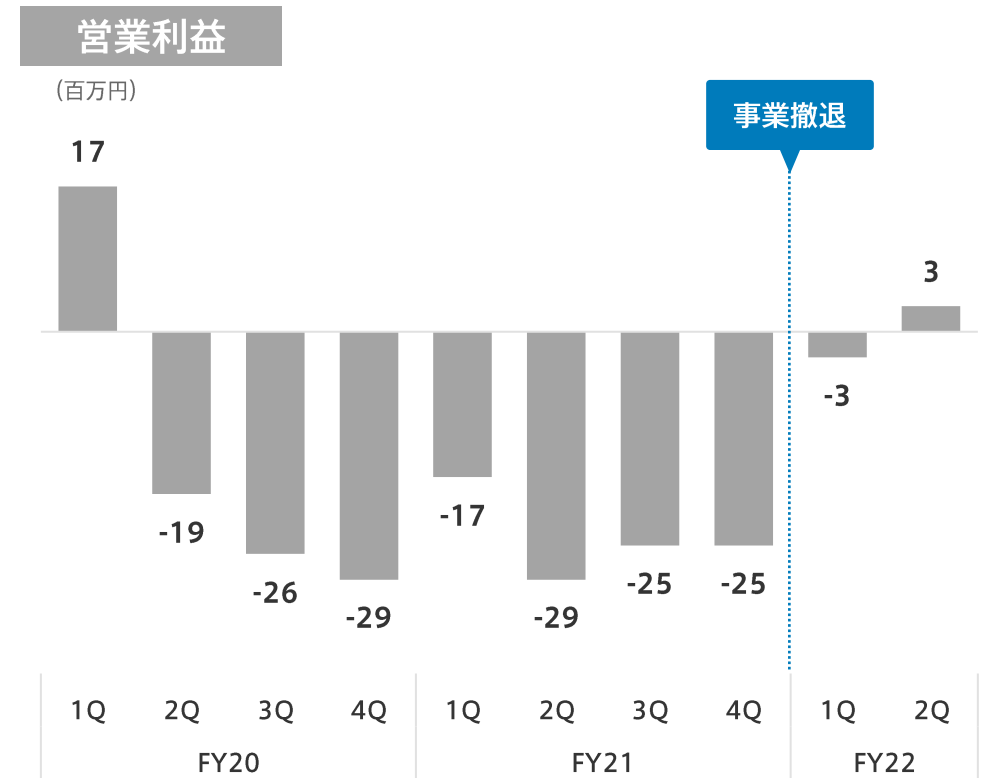
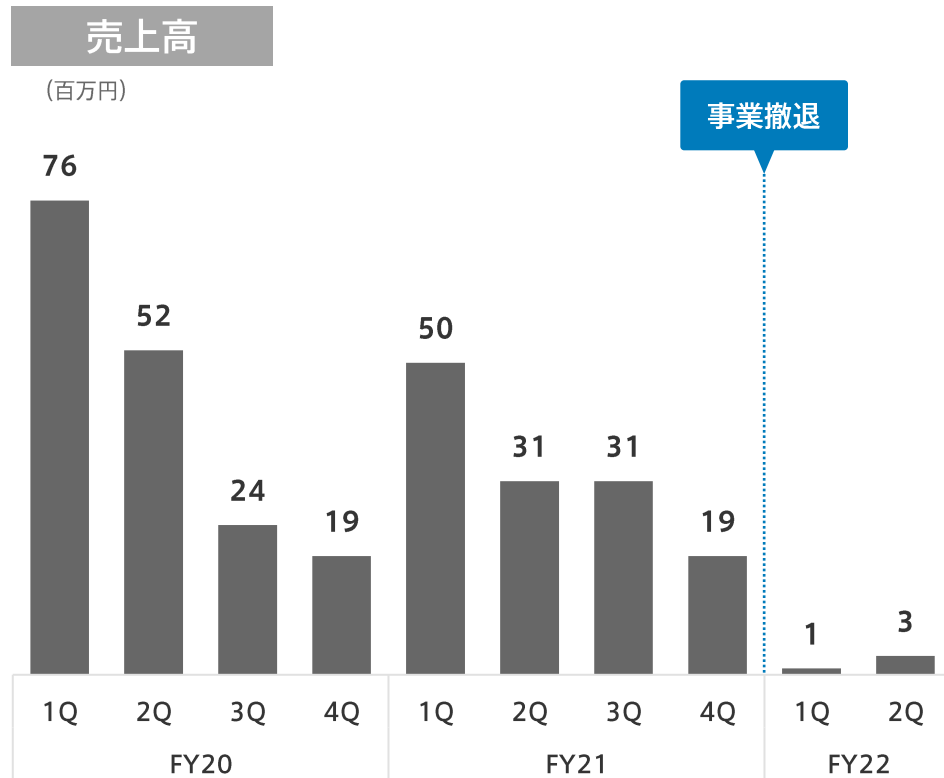
## 営業利益

(百万円)



## 参考：撤退事業（その他IoT事業）売上高/営業利益推移（四半期）

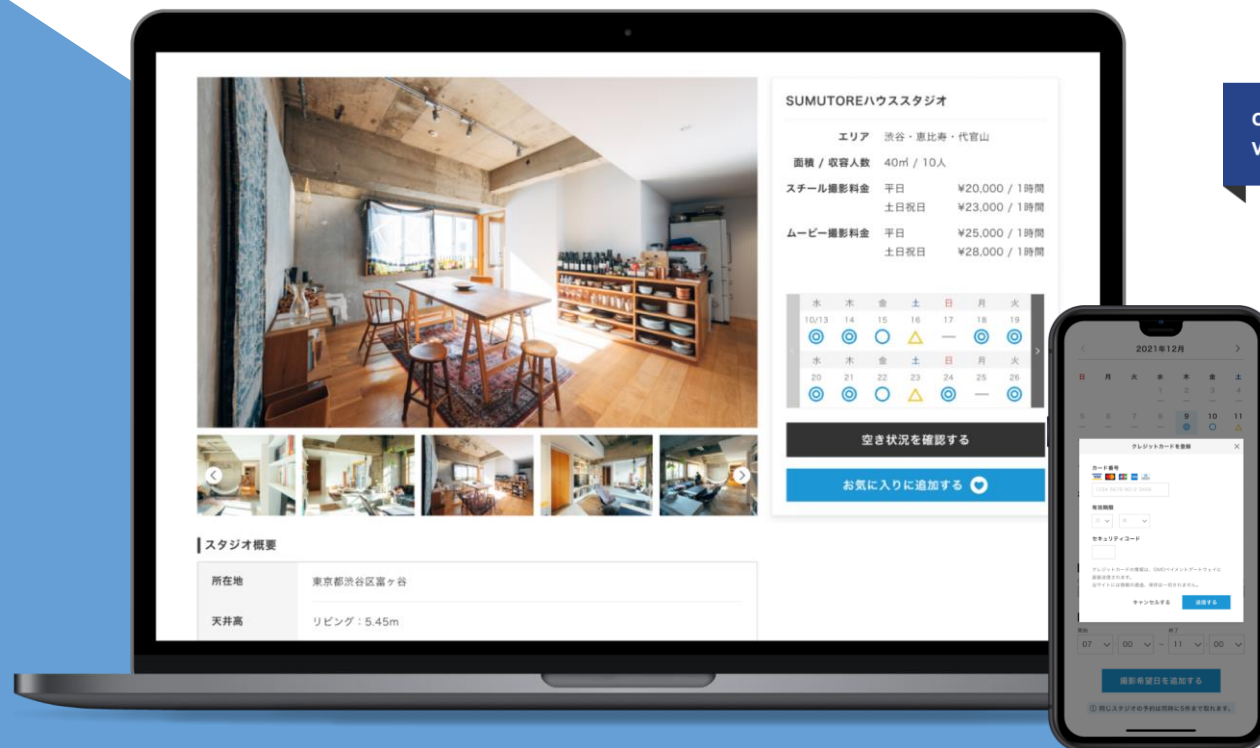
- IoT事業の事業構造改革を実施したことに伴い、今期1Qより事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを「IoT事業」から「RET事業」に変更



# 「SUMUTORE」サービス4月下旬開始

- 撮影を行うためのスタジオニーズと撮影場所の提供者のマッチングプラットフォームを開発
- ポータルサイト「SUMUTORE」が4月下旬に運用開始予定

## SUMUTORE



OUR  
VALUE

01

撮影者に寄り添った、見やすいデザイン

OUR  
VALUE

02

撮影者に嬉しい「仮予約・ロケハン」機能

OUR  
VALUE

03

最適なスタジオに最短でたどり着ける導線

OUR  
VALUE

04

ネットで完結する便利な支払い機能

# 「&RESIDENCE」事業における物件開発1号案件と今後の取組方針

- 株式会社サンライフコーポレーション（以下、サンライフ）が開発する賃貸物件へのコンサルティング事業「&RESIDENCE」を開始（3Qに一定の手数料収入を計上予定）
- 住宅に収益性をもたせるための規約を設けることで、オーナーは賃料に加えて付帯収益を得ることが可能
- 当社はプロデュース手数料及び「SUMUTORE」への送客による収益強化を目指す
- サンライフとは今後も事業提携の形で継続的に案件創出に向けて協業していく方針（開発パートナーは今後も拡充予定）

& and factory

- &AND HOSTEL事業で培った不動産プロデュース力
- 新規事業「SUMUTORE」との連携による物件の訴求力強化



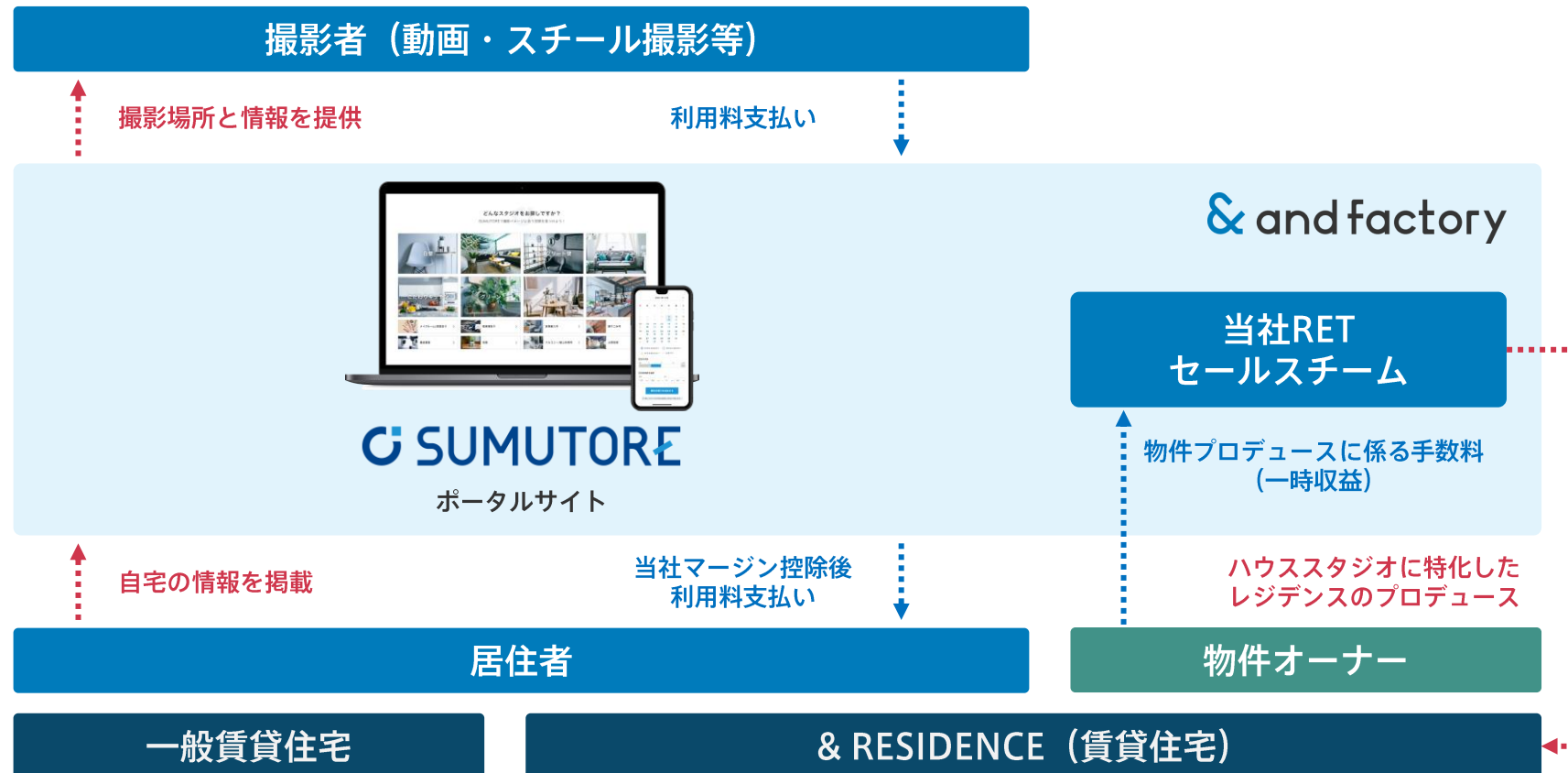
& RESIDENCE

- レジデンス開発の実績多数
- 用地取得から建設まで自社で担う総合力
- 再生可能エネルギー事業軸を持っており脱炭素を絡めた物件開発が可能

& RESIDENCEの拡大に向けて継続的に物件を確保しプロデュースしていくことを目指す

## (再掲) 商流図と当社のキャッシュポイント

- 撮影スタジオのプラットフォームサイト「SUMUTORE」に居住者からの情報を掲載
- 一般的な住宅をスタジオとして活用するニーズに特化したto Bサービスに注力（プロ向け、商業利用目的での撮影）
- 外部への時間貸しを前提とした利用規約・諸条件を備えた物件をプロデュース、副次的な収益源を見込む

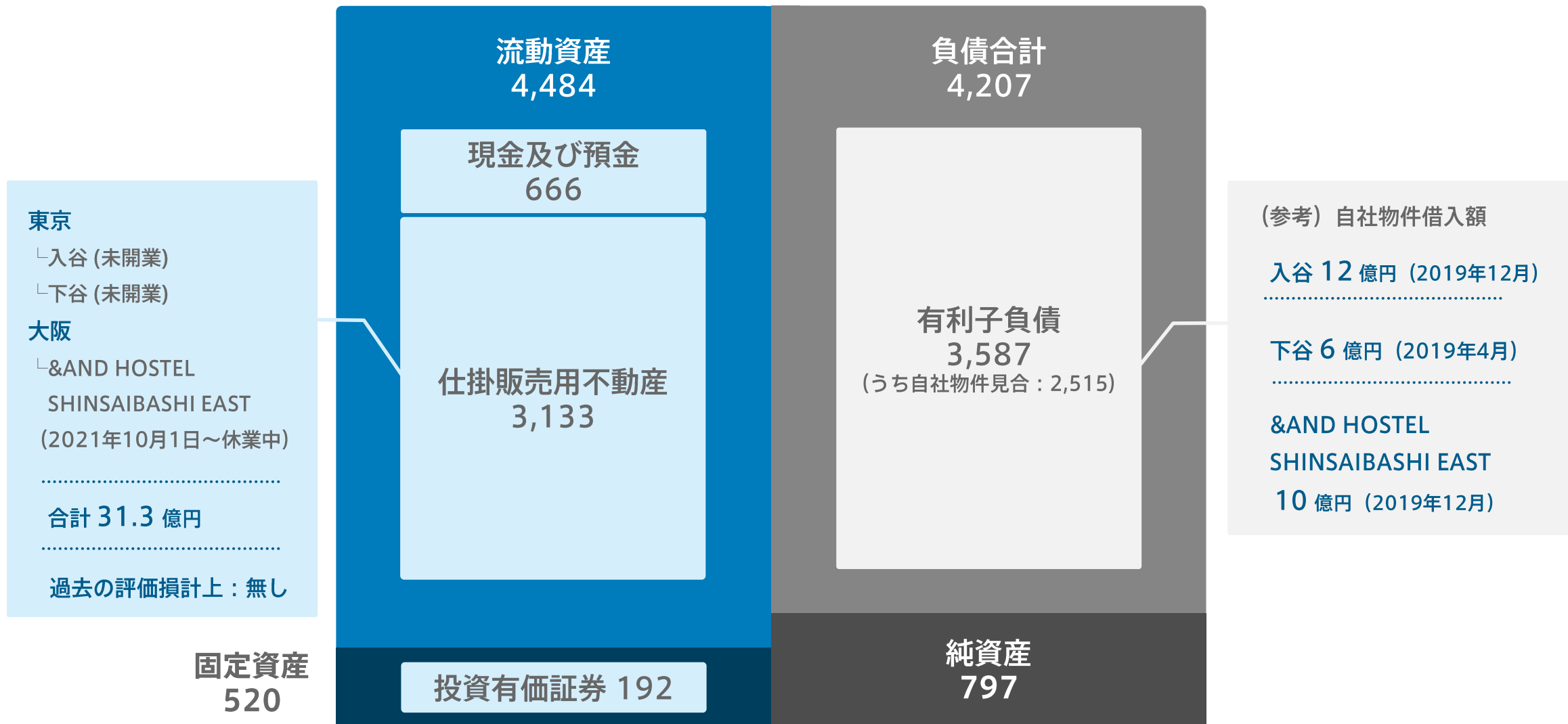


# その他

# 当社のBS概略

2022年8月期2Q末






(百万円)



# 当社保有の投資有価証券

## 売却益が発生した際のアロケーション方針

売却益が生じた際には優先的に既存・新規事業の拡大に充当していくが、短期的にまとまった資金使途がない場合には自己株式取得などの一時的な株主還元にも充当することも検討する

投資先	出資額	持分割合	事業内容	出資時期
 ATMOPH	9百万円	0.85%	窓型のスマートディスプレイ 「Atmoph Window」の開発・提供	2018年4月
	非開示	非開示	AIを活用したインサイト マーケティングのツールを提供	A種2018年11月 B種2019年12月
 MIRROR FIT.	30百万円	※J-KISS型新株予約 権のため算出不可	専用のミラーデバイスを用いた フィットネス体験等のサービス 「MIRROR FIT.」を提供	2020年10月
 cynack	4百万円	1.44%	AR基礎技術開発による ツールやサービスの開発・提供 及びコンサルティング事業等	2020年12月
 Skyfall	非開示	非開示	スマートフォンアプリ及びWEBサービス 向けのアドネットワークの開発・運営	2021年2月
上記5社累計出資額	207百万円			

※出資後に簿価の洗い替えを行ったものがあるため、出資額の合計と投資有価証券のBS計上額は一致していない。



# Appendix

# BS増減比較

(百万円)

	2021年8月期末	2022年8月期2Q末	増減比較 (前期末比)
流動資産	4,733	4,484	-248
└現金及び預金	774	666	-108
固定資産	643	520	-122
資産合計	5,376	5,005	-371
流動負債	1,324	1,184	-139
固定負債	3,163	3,022	-141
負債合計	4,488	4,207	-280
└(有利子負債)	3,756	3,587	-168
資本金	549	551	2
資本剰余金	548	550	2
利益剰余金	-210	-304	-94
自己株式	0	0	0
純資産合計	888	797	-90

(百万円)

	2021年8月期2Q 累計期間	2022年8月期2Q 累計期間	前年同期比	2022年8月期 予想
売上高	1,479	1,332	90.0%	3,050
└売上高成長率	-0.3%	-10.0%	—	0.2%
└APP事業	1,332	1,259	94.5%	—
└RET事業	66	67	101.5%	—
└その他	80	5	6.8%	—
営業利益又は営業損失	-207	11	—	170
経常損失	-274	-95	—	-47
当期（四半期）純損失	-276	-94	—	-40

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に新技術等を用いたエンターテインメント領域に係る事業であります。  
 ※第1四半期会計期間より、IoT事業の事業構造改革を実施したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「APP事業」「IoT事業」から、「APP事業」「RET事業」に変更しております。  
 また、前第3四半期会計期間より、APP事業に関連するインターネット広告の代理サービス事業を、APP事業で管掌する組織変更を行いました。なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

## 2022年8月期業績予想（10月15日発表から変更なし）

- 前期の事業譲渡や縮小撤退により売上高が約1.2億円剥落するが、当該要因を踏まえても前期並み以上を目指す
- 営業利益は新規事業等への十分な投資を行いつつ、黒字化を計画
- 移転関連費用は今期も継続して発生することを想定し、営業外費用として織り込み済み

(百万円)

	FY21	FY22	
	実績	計画	前年同期比
売上高	3,044	3,050	+5
営業利益	-83	170	+253
経常損失	-239	-47	+192
当期純損失	-561	-40	+521

# 事業別売上高・営業利益

(百万円)

	FY20				FY21				FY22		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
マンガ アプリ	売上高	577	510	584	616	570	632	606	653	546	528
	広告宣伝費	261	276	194	278	297	311	214	191	171	190
	営業利益	136	66	151	87	34	94	182	211	138	103
	MAU (万人)	641	720	906	994	1,026	1,054	1,056	1,101	1,046	1,044
エンタメ	売上高	64	64	64	62	62	66	88	87	81	102
	占い事業	7	9	15	27	30	37	54	63	66	92
	最強	41	40	36	23	23	20	25	15	7	1
	営業利益	13	15	8	-43	10	4	28	22	0	-8
	占い事業	-14	-14	-16	-48	-4	-6	9	12	0	-4
RET (不動産事業)	売上高	46	30	55	30	34	30	40	36	37	30
	営業利益	-30	-31	-20	-45	-52	-50	-29	-36	-15	-19

## ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。